

# ちょうしづか新聞 第37号

国指定史跡銚子塚古墳附丸山塚古墳整備事業に伴う試掘調査速報

発行日:2005年2月23日(水曜日) 発行:山梨県埋蔵文化財センター資料普及課資料第2担当

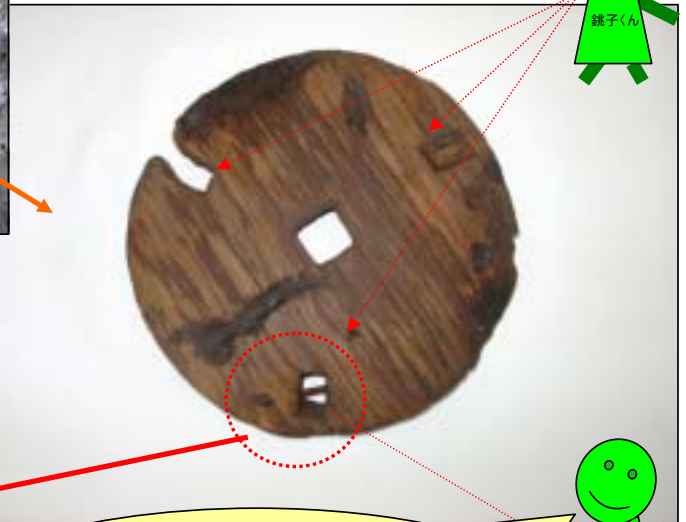
## あれっ木製円盤の穴に何か刺さってるぞ！ 差し込んだ木材を固定する「木製目釘」発見だー！

第10号トレンチで見つかった「木製樹物(もくせいたてのもの)」については、第27号で出土状況をお伝えしました。今回は取り上げ後の簡易クリーニング作業を終えた「円盤状木製品」についての続報をお伝えしましょう！円盤にはとても手がこんだ造作がしてあることがわかりましたよ。

円盤状木製品の出土状況



この円盤形木製品は第10号トレンチ 11という番号で取り上げてきたものだよ。円盤には中央に約2cm四方の穴が開けられているんだ。そして円盤の円周に近い部分にはほぼ等間隔に合計3個の長方形の穴が放射状の方向に開けられているんだ。今回確認された「木製目釘」はこの3個の穴すべてに差し込まれていたんだ。



ほら、ここここ！  
木でできた釘や楊枝のような細く尖らせた棒が差し込まれているでしょ！  
目立たないようにしっかり中のほうまで入っているのだから「木製目釘」と呼んでいますがいかがでしょうか？

この「木製目釘」は長方形の穴に組み込んだ木材をしっかりと固定するために差し込まれたものと考えられます。外から見てもあまり目立たないように斜め方向から上手に差し込まれていることがわかります。

このような造作が施してあるこの円盤状木製品は一体どんな使われ方をしたのでしょうか？一時だけ使うものや何かを模したものであるならば、このような入念な作り方はしないのではないかと考えてしまいますね。あるいは長方形の穴に組み込まれた木には何か重量のあるものでも付けられていたのでしょうか？いずれにせよ、このような「木製目釘」を使ってあることが確認されたことは、この円盤状木製品のことを考える上で大変重要なポイントになってくると考えられます。

おや？木製品を実測作業中のスタッフが何か言ってますよ。えっ？なに他の円盤にも！？うひゃーすごーい！これまた大発見ですねー。何が見つかったのかって？それは次号以降のお楽しみ！次回の「ちょうしづか新聞」、ホームページ更新をご期待くださいね。うふふふふ……。

【連絡先】山梨県埋蔵文化財センター 資料普及課資料第2担当(森原・森屋)

〒400 1508 山梨県東八代郡中道町下曾根923 電話055 266 3016 ファックス055 266 3882  
e-mail morihara-thb@pref.yamanashi.lg.jp

この「ちょうしづか新聞」は「山梨県埋蔵文化財センター」のホームページでも公開中です。YAHOOでも検索可能です。

URL <http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/maizou-bnk/index.htm>